

平成23年8月23日

「香大ベンチャー、韓国医薬品開発企業とライセンス合意」について

香川大学医学部発バイオベンチャー企業ガルファーマは8月5日韓国ソウルにて、骨粗しょう症と火傷後の重症感染症領域において韓国のバイオ・シー・エヌ・ディー社に同社の安定化ガレクチン9技術をライセンスする合意を行った。安定化ガレクチン9はヒトの体内で免疫正常化機能を担うガレクチン9というタンパク質を改変し、薬剤に必要な安定性を与えたガルファーマの特許技術である。バイオ・シー・エヌ・ディーは元韓国製薬企業の開発責任者と元韓国食品医薬品局の責任者を核とするバイオ医薬品臨床開発のスペシャリストであり、医学的ニーズが満たされていない該疾患領域での事業権をガルファーマに求めた。今後、両社は共同開発委員会を設立し、合意領域での臨床開発を促進する。一方、ガルファーマが主要領域と位置づけるリウマチを含む自己免疫疾患、癌などについては今後とも提携企業を探してゆく方針である。



■ガルファーマとは・・・

ガルファーマは、香川医科大学（当時）の平島光臣教授のガレクチン9における研究成果を事業化することを目的として、2000年に設立。現在の代表は、仁木 敏朗氏。

■ガレクチン9とは・・・

現在、哺乳類のガレクチンとして14種類が知られている（内、ヒトの場合10種類）が、それぞれ機能が異なる。ガレクチン9は免疫を正常化する因子で、自己免疫疾患・アレルギーの治療薬としてだけでなく、がん・感染症治療薬としての潜在性もある。さらに、骨吸収抑制、骨形成促進作用も明らかになっており、幅広い疾患領域への適応を想定している。



➤ 問い合わせ先

香川大学 医学部

病理病態・生体防御医学講座 免疫病理学 仁木 敏朗

TEL：087-891-2118 FAX：087-891-2119

E-mail：niki@med.kagawa-u.ac.jp